

第1回 西猪名公園管理運営協議会 議事要旨

1 日時 令和5年9月15日（金）9:00～12:00

2 場所 （視察） 西猪名公園内
（協議） アイホール(伊丹市立演劇ホール) 3階 カルチャールーム

3 出席者

足立委員（代理渡辺委員）、小坂委員、北村委員、藏原委員、高津委員、辻井委員
長濱委員、松山委員、森委員、山田委員

4 内容・議題

- （1）現地視察
- （2）西猪名公園管理運営協議会について
- （3）西猪名公園について
- （4）県立都市公園のあり方検討について
- （5）その他

5 要旨

（1）現地確認

西猪名公園管理事務所長 源田所長が現地を案内。主な説明事項は下記の通り

- 正面の通路は臨時駐輪場となっている。
- 球技場は大学生のラクロス等の利用が多い。
- ウォーターランドは夏の最大の集客施設。
- ウォータースライダーの滑る箇所はFRPに改修済。
- この時期にウォーターランド内の遊具を使えるのはウォーターランド利用者のみ。
- ウォータースライダーは小学1年生以上が対象。稼働時期は7月～8月
- ヤシなどについては、高くなりすぎて維持管理ができなくなったため伐採した。
- 今年の10月1日から社会実験としてウォーターランド内でバーベキューの場所貸しを行う。
- ウォーターランドの定員は2,000人。昨年までは2,000人で入場制限をかけていたが今年はフリーでやっている。ただ駐車場の問題があるため、一度に2,000人の利用者がつめかけることは困難。
- 管理事務所にはトイレ、ロッカー、シャワー等の設備がある。
- 2階に子どもが遊べる空間があり、月に1回子育てクラブを開催している。
- 事務所内では協議会の会議スペースを確保することができない。
- 中央広場では、春と秋に森委員にお手伝い頂きながら大規模イベントを実施している。
- 散策利用の来園者よりも、テニスやウォーターランド等の施設を目的に来る方が多い。

- 展望広場の裏は昆虫観察等ができるようにわざと草を残している。
- トイレは最近新設。県内の各公園でトイレ更新を行っている。
- 公園の駐輪場は公園利用者のために設置されているが、通勤目的の駐輪が目立っており、川西市と共に対応を検討している。

(2) 西猪名公園管理運営協議会について

- アイホール3階カルチャールームに移動し協議を実施。
- 委員の推薦により長濱委員が協議会長に就任。
- 長濱協議会会長より小坂委員を副会長に指名。
- 事務局より資料2のP1～P4に基づき説明。

(3) 西猪名公園について

- 事務局より資料2のP5～P9に基づき説明。
- 花壇がインパクトがない。夏の間は賑わっているが、そうでない時期は閑散としている。駅前で立地はいいが、なんとなく暗い印象を抱く公園であると感じる。もっと公園が明るい印象になるようにして頂きたい。地域の方やテニス等で公園を利用する方を巻き込んで、花壇作り等を通して賑やかな公園づくりをしたら良いのではないかと考える。また、ナンジャモンジャのような、電車や公園の外から見たときに、興味を引くような樹木を植えて頂ければ良いのではないかと考える。(辻井委員)
- 今のご意見は西猪名公園に点在するスポーツの施設の間においての話であると考え。また西猪名公園は、駅前広場のような機能を持っているという意味で、地域の方から愛着をもたれる場所になってもらうという意味で花壇の話をして下さったのかと考える。(長濱委員)
- 西猪名公園への関わりとしては、公園の見回りのような活動の他、イベント等があればビラ配布等を手伝ったりしている。西猪名公園についての感想は、スポーツ公園であるため、一般の方が遊べるようなものが少ない公園であると考え。(松山委員)
- 西猪名公園について強みの多い公園であるという印象を抱いた。また、車で来たことはあったが、実は駅から近く便利であることや、子どもと来たときは感じなかったが、意外とコンパクトな公園であることなど、気づきが多くあった。子育て支援が専門なので、子どもの目線に立って検討を行っていききたい。また市の子育て拠点を運営しており、イベント等の情報が集約されてくるはずだが、あまり西猪名公園のイベントを取り扱った覚えがないため、うまく連携を取っていただけると感じた。場作りをする際には多様性が大切なので、インクルーシブという視点も必要と考える。最後に、公園の冬期利用者はどんな方がいらっしゃるのか。(藏原委員)
- 藏原委員の質問に併せて、資料にある利用者の主な意見の中にある「冬期に無料開園しているウォーターランド」についてどのようなものか教えて頂きたい。(長濱委員)

- 冬期利用についてはテニスコート等のスポーツ施設の利用者が大半である。ウォーターランド内については、ウォーターキャスル以外解放しており、自由に使ってもらえるようになっている。
- ということは園内を散策する等公園自体を利用する人は少なく、園内は閑散としているというイメージか。(藏原委員)
- おっしゃるとおり。(事務局)
- もう一点、西猪名公園からは電車と飛行機が見えるが、これは子ども等に人気ができる大きなポイントなので、JR等とソフト面等で連携があれば良いのではないかと考える。(藏原委員)
- 今日は公共交通を利用してきたが、駅から公園に入る際に、なんとなくだが園内に入りにくい雰囲気を感じる。そのため、公園の中で何をやっているのかな、なんだか入ってみたいなどと思わせるようなものがあればと感じる。そういう意味で辻井委員がおっしゃったように、四季折々の花や樹木があればいいのではと考える。人間は植物を見たら気持ちりが和らぐ。
また、ウォーターランドの滝のエリアに人気があると言うところから、自然のものを活かして子ども等が遊ぶことができるエリアがあれば良いと感じた。(森委員)
- 滝のエリアの石積みについては、現在の安全基準上、なかなかおなじようなものは作れないが、子ども達をワイルドに遊ばせるというのは非常に重要であると考えます。
また前半におっしゃっていた未来に繋がるような話については、今後、県の計画等をベースにしなが、この会で話し合っていきたいと考える。(長濱委員)
- 公園管理については、事務局から指定管理について説明があったが、パーク PFI という手法もある。公園の中でカフェのようなものを民間の投資により運営するようなものが全国的に多く見られる。西猪名公園は逆に収益型のスポーツ公園なので、指定管理の中で収益を上げて安い管理費で賄っているというモデル。こういった収益から園内の花壇整備を行う等の方法が考えられる。そのため、収益性という面を活かしうまく展開していくということが考えられる公園であると感じる。(長濱委員)
- スポーツ施設としてしっかり利用されているのは喜ばしいと考えるが、利用方法によっては公園というより本当の意味でのスポーツ場になってしまう。そのため、ベンチの配置や花の植え方等を工夫し、施設同士を繋ぐ仕組みを作ると良いのではないかと感じた。また、多目的広場をプレイパークのように活用し、大人だけでなく子どもも楽しめるようになれば良いと考える。(小坂委員)
- 西猪名公園を考えるとときにスポーツ施設は収益性が高いので大切にすべきだと考える。そのため、スポーツ施設の間の空間をどう使うかが大切であると考えます。先ほど小坂委員がおっしゃったように、スポーツをやった後に公園を利用するといった二次的な利用ということと、スポーツはしないが、スポーツを見ながら、何らかの形で二次利用するといったことが考えられるのではないかと感じた。(長濱委員)

(3) 県立都市公園のあり方検討について

事務局より資料の P10～P27 に基づき説明。

- 今の話は2つの視点があり、1つは自然環境保全もう1つは活性化や使い方についてである。

この話がなぜ難しいかという、今までは経済成長する中で多くの公園を作っていかなければならなかったため行政主導でやっていた。そして、十分育った公園の緑がもともとの目的を超えて地域資産のような扱いになっている。そのため、地域や利用者等の意見も聞きながら、方針を決める時代になってきた。要は量から、質の話に移る過渡期を迎えている。そのため、こういった協議会で合意形成を図りながらやっていくということになる。そういう意味でこういった難しい話を利用者側も共有し理解し一定の責任を持たないといけないということになってきた時代だということでもある。

またこうした状況において、税制も厳しい中で園内のコンテンツを見直すにあたり、パーク P F I 等の制度を使って民間資金を活用するという事に繋がってる。

西猪名公園については、今回確認した際に、想像以上にみどり資産としての価値が高いと感じた。一方である程度樹木の更新というのにも必要になる。樹木は高齢になりすぎると CO2 を余り吸収しないという話もある。このあたりのバランスを見ながら上手くやっていく必要があると考える。

本日資料に記載されている自然環境保全の内容は大規模公園を想定しているため、西猪名公園にフィットするよう、少しコンパクトにすることができるのではないかとと思われる。今後これらの内容については事務局が出す素案を元に議論を進めることになろうかと考える。事務局が案を作るにあたり、資料の内容について何かご意見はないだろうか。(長濱委員)

- 既存木の状態を見ていると、土壌が悪いので成長していない。既存木を精査し、整理して、新たな魅力ある樹木を増やしていく方法もあるのではないかと。(辻井委員)
- 知識がある方や専門の方は更新というか、新しい樹木に変えていくということにも理解がある。土壌の問題については、北摂エリアは元々土壌が土が良くないエリアなので、中々難しいところもあるかと思われる。(長濱委員)
- 木を切ることにに関して、人によっていろんな思いや見方があるが、異なる考えについて話し合う場所がなかった。今それを作ろうとしている。西猪名公園についても話し合う場所を作って、議論を交わしていきたい。
話し合いの中で出た面白い意見として情報発信に関するものがある。別の公園で SNS は興味のあるものしか見ないから、むしろポスター等の方が有効であると女子高生に指摘された。若い方はスマホが主な情報源で、そこにアプローチするのが有効ではないかと考えていたので、大変驚かされた。(北村委員)
- プッシュ型というかインターネットというのは、情報が偏って送られてくる。それに対してチラシのようなものが逆に普段出会わない情報との出会いがあったりすることもある。こういった媒体は設置する場所を戦略的に、ターゲット層の目線で考える必要がある。(長濱委員)

○情報発信について、具体的な例で言うと、子育て情報を発信するときに、媒体をお母さんグループで作ってもらったことがある。そうすると、こちらが考えつかないような様々な視点があり想定外の成果物が出来上がったため大変驚かされた。その点でそれぞれのターゲットによって手に取りやすさや読みやすさというのは色々あるのだなと感じた。(藏原委員)

○17日から24日まで、明石公園でガーデンショーを行う。是非皆様にPRして頂きたい。情報発信の点では、例えば公園が駅前にあり電車等から見える特性を活かし、垂れ幕などを設置すると非常に効果的であると考え。またポスターも大変良いと考える。ガーデンショーのポスターを自治会の掲示板に貼ってもらったが、一目瞭然だしとてもわかりやすく大変良いと感じた。(辻井委員)

(4) その他

○ヒアリングには何名ぐらい参加する見込みか(長濱委員)

○応募があった場合は断らないつもりなので応募があれば全員参加してもらおう。明石公園等では各回おおよそ18組程が参加した。日程調整に当たっては、念のため1日スケジュールを明けて頂きたい。(事務局)

以上